

## 以下は、保坂浩輝がコソコソFB・ブログに投稿したものをまとめたものです。これだけ多くの医師・ご専門の方の意見をメディアはほとんど取り上げず、恐怖を煽り続け、私達の命・健康・財産・生活を脅かし、子ども達を犠牲にし、差別も生んでいます。

「メディアが恐怖を異常に煽っている。一年以内のワクチン開発などありえない。新型コロナウイルスは人工的に作られたのではないかと思われるフシがいっぱいある」

**ノーベル賞・大村智博士 (月刊致知)**

.....

「コロナによる被害は、ウイルスによる病気や死亡よりも、特に子ども達の精神に対する害が最も大きい。子どものマスクの着用により、身体、行動、学習、情緒のすべてにわたって非常に多彩な障害（副作用）を認めました」

**本間真二郎医師**

.....

「PCR は諸悪の根源。コロナは人災である。指定感染症から外すか 5 類へ。コロナは分子構造、免疫特性、臨床症状まで非常に詳しく分かり既知のウィルスになった。インフルエンザワクチンとコロナワクチンは決定的に違う。打つ必要無し。遺伝子改変と同じ医療行為で10年20年経たないとわからない。1 回打ったら元に戻せないワクチン。生涯にわたり自己免疫疾患的な副作用を持つ可能性あり」

**大阪市立大学名誉教授・井上正康氏**

.....

「マスクは新型コロナに対抗するための免疫力を低下させます。免疫力の源泉が呼吸にあるからです。マスクをすればするほど免疫力を低下させて自分を新型コロナに感染しやすくしている」

**帯津良一医師 (週刊朝日)**

.....

「非常事態宣言・外出自粛は2度と繰り返すべきではない」

**慈恵医大・大木隆生医師**

.....

「毎年1000万人以上がインフルエンザに罹患して、患者は冬季に集中しているのに「インフルエンザの流行で医療崩壊」は絶対に起こりません。新型コロナは1年かかって死者は2000人に到達しないただの風邪です。1ヶ月で3000人を殺すインフルエンザの比ではありません。ただの風邪を2類という「ものすごい感染症」扱いして軽症者も入院させ、その結果、「ベッドが足りなくなる」⇒「コロナ以外の重症患者を入院させられない／通常の手術ができない」⇒「医療崩壊だ」と騒ぐのはあまりに頭が悪すぎませんか？

これは「医療崩壊」ではなく「医療、阿呆かい？」ですよ」

**新井圭輔医師**

.....

「世界一のベッド数で欧米の100分の1の患者数で崩壊させたら世界からどう思われるだろう？日本人にとってコロナの致死率はインフルエンザ以下であることが明らかだ。死亡するのほぼ持病持ちの高齢者で、インフルなら少なからず重症化する子どもはほぼ重症化どころか発症すらしない。それでインフルその他多くのずっと怖い感染症を減らしてくれたのだ。こんなに優しいウイルスはない。この冬は恐らく、歴史上最も感染症的に安全な年の一つになる。それなのに、なぜ自粛する？経済を止める？インフルが大流行した一昨年まで、自粛したか？経済を止めたか？人にマスクしろと言ったか？」

**石井仁平医師**

このチラシの記事は、フェイスブックで約2190件シェアされています（令和3年12月24日現在）。

「PCR陽性者＝感染者ではありません。PCR検査をやり続けた場合、永久にゼロにはならず、この騒動はいつまでも収束しません。今回の騒動は考えれば考えるほど疑問だらけです」

**藤原紹生医師**

.....

「マスクをして会話をする事で微生物の受け渡しができずに免疫を上げる事が妨げられ、余計に感染しやすい身体になってしまいます。子供たちにマスクをさせているのは馬鹿げている。

医療機関や学校などでPCR陽性者が出た時に全員に検査をして複数の陽性者が見つかったとクラスターだと騒いでいますが、無症状の陽性者を見つけても誹謗中傷的を増やしているだけで、どうして風評被害を払けようとするのか理解できません。経済を落ち込ませ、人々の心を荒ませ、相手を信じられなくするような社会を作り、コロナ死亡者以上に非感染者の自殺者を増加させて、どうして平気で居られるのでしょうか？もうそろそろこの茶番を終わらせてもらえないでしょうか？」

**金城信雄医師**

.....

「「新型コロナを「指定感染症」から外すことである。「ただの風邪」である若年層には明らかに過剰な措置だ。数日で回復する軽症の感染者であっても入院隔離となり、病床が埋まる。その結果、医療関係者の負担が過多になり、本当に医療措置が必要な高齢者や基礎疾患を持つ人のための医療体制が崩壊に向かいつつある」

**立命館大学政策科学部・上久保誠人教授**

.....

「PCRという当てにもならない検査で「陽性になった人」の数を、「感染者」とすり替えて虚偽報道していますが、これは犯罪です。PCR陽性者を感染者だと言って、しょっぴいて隔離処置にし、職場にまでガサ入れする。これは重大な人権侵害、営業妨害です。マスクも感染を防御する効果は全くありません。効果がないだけならともかく、マスク長期着用は有害で危険です。慢性的な低酸素血症を引き起こし、免疫力低下をもたらします。さらにマスクに付着した細菌や真菌、ウイルスで逆に不潔で感染のリスクが高まります。また、装着2時間後から記憶を司る海馬の細胞が死に始め、長期着用で認知症や子供の発達障害の危険が出てきます。人の表情が読み取れないことから小児には重大な精神発達障害、コミュニケーション障害も懸念されます。三密を避け、寄るな、触るな、こもってる。これも嘘です。「新しい生活様式」とやらは、免疫を低下させ、さっさと死んでもらうための様式としか言えません。」

**小林有希医師**

.....

「風邪のワクチンの変異するから作れないとわかっている。詐欺にしか見えない。副反応以前の問題」

**萬田緑平医師**

.....

「PCRはあまりに不確定な検査。これ以上継続したら世界中の皆様が地獄へ向かうことを警告させていただきます」

**小峰一雄医師**

.....

「緊急事態宣言も自粛も効果なし」

**大阪大学 核物理研究センター長・中野貴志教授**

## 嘘の発表＆報道・自粛警察・マスク警察・言論統制など戦争末期のファシズムのような異常事態です。ウソ・間違っただ策をやめなければ、いつまでも収束・正常化しません。今は第3次世界大戦中。プロパガンダに氣付き、マスクを外し、正常な社会を創りましょう。

「マスコミは、どこでクラスターが発生したと、連日施設名、学校名など出して報道していますが、それでどれほど傷つく人がいるのか、無責任なものです。クラスター！とレッテルを貼られて報道されてしまうのは非常に疑問です。決して犯罪者ではありません。」

**武田恒弘医師**

.....

「「陽性」イコール「感染」とは、絶対にならない」

**船木威徳医師**

.....

「接種する意味のあるワクチンは一本もない。ワクチンには様々な有害物質が含まれている」
**中村篤史医師**

.....

「健康者のマスク常用は無意味どころか、かえって感染拡大に加担したり、健康を害するリスクが明確」

**整体師・西田聡先生**

.....

「インフルエンザは怖いよ、と脅し続ければ、永遠にワクチンとインフルエンザの薬を売り続けることができる。永遠に続けられる商売なのです」

**母里啓子元国立公衆衛生院疫学部感染症室長**

.....

「第3波到来と大騒ぎをしている背景にはPCR増幅回数のトリックがあります。無症状や軽い風邪の人にいきなりPCRを実施し、増幅を40回以上繰り返し「コロナ感染者」と診断しているのが現状。人類がかつて接種されたことのないDNA・RNAワクチンだけに、免疫系の暴走や遺伝子異常など何が起きるか分かりません。打つな！新コロナワクチン」
**高橋徳医師**

.....

「ウィルスや細菌などが付着したままの同一マスクの常時着用は、感染のリスクを高めてしまうという極めて当たり前の考え方が、感染症専門家が何故できないのか不思議。マスク着用は、感染を逆に広げ重症化の要因になりうる。感染状況が一旦収束してから、第2波防止のためマスク着用を義務化した多くの国で感染者数が逆に増えています。」

**竹林直紀医師**

.....

「日々繰り返される報道の偏りと嘘。～中略～未だに陽性者数を報道する時に検査件数は報道しない。「陽性」と「感染」と「発症」は違うと医学部で教わったが、指摘する人は少ない。あまりに質の悪い報道が多い。～中略～

本来ワクチンは治験を含めて開発に10年以上かかるのに、たった半年でできたと言っている。何年も前から準備していたか安全性が確認できていないものを垂れ流すか、どちらかしかないだろう。～中略～安全性が確立されていないものを患者さんに打つわけにはいかない。私自身も打たないと決めている」

**正木稔子医師**（元記事は右のQRコード）

.....

「子どもにワクチンを打つようにとされている理由は嘘です。あなたの子どもや家族にとってウィルスの小さなリスクに対してワクチンを接種するメリットはないのです」

**mRNAワクチンを開発したロバートマローン博士**

「診断に使ってはいけないPCR検査で陽性者を感染者と嘘の報道を繰り返している。感染者水増しの結果、自粛、マスクによる熱中症死亡者、自殺者増加がコロナ死の比ではない。更にコロナ以外の死因であってもコロナ死と公表するデタラメぶりである。」

**杉田穂高医師**

.....

「症状がない限り、マスクをしても意味がない。

マスクで息苦しくなると肺炎のリスクが高まります」

**伊達伯欣医師**

.....

「ワクチンは難病奇病万病の原因です。打ってはいけません」

**石川真樹夫医師**

.....

「「予防接種をしていると発症が軽く済む」という話ですが、予防接種の原理は抗原抗体反応です。医学生理学的に1対1対応です（鍵と鍵穴）。ということは防げる vs 防げない（ドアが開く vs 開かない）だけになります。発症した時点で予防接種は無効だった証とも言えるでしょう。故に、軽く済むということはない訳です。軽く済んだのは、貴方の免疫力のお陰様に他なりません」

**田中佳医師**

.....

「PCR検査を行うこと自体に意味がない。このような検査で確定診断しているのはもはやファンタジーやオカルトの世界の話」

**松本有史医師**

.....

「マスク・過剰殺菌・引き篋りは免疫力を下げ、病氣を増やす」

**Dr. Dan Erickson**

.....

「酸素欠乏は永久的な神経障害を引き起こし、あらゆる臓器にダメージを与えます。子供や思春期の子供にとってマスクは絶対に禁物。酸素欠乏は脳の発達を阻害し、その結果として生じたダメージは元に戻すことができません」
**マーガレット・グリーズブリッソン博士**

.....

「無症状感染など無いことが証明された」
**ロバートケネディJr氏**

.....

「ソーシャルディスタンスは必要ありません。ロックダウンも無意味です。すべての対策には何の医学的根拠もありません。

健康な人は通常の生活をしまししょう。

PCRは医学的詐欺です。健康な人を感染者に仕立て上げているからです。テレビが報道する数はすべてデタラメです」

**ベルギーの医師ヨハン・デニス氏**

.....

「コロナ茶番劇は、完全なる事実無根の大衆的ヒステリーであり、メディアと政治家による扇動。極悪非道。過去に類を見ない正直な一般市民への最大の詐欺行為。コロナは、エボラでもなくサーズでもなく特別な対策は何もいらない。マスクも社会的距離もまったく意味が無い。PCR陽性は感染を意味しない」

**Dr.ロジャー・ホディキンソン氏 (医学協会病理検査部門元会長・ウィルス学も含む病理学が専門)**